

なるほど!
違いに納得

体験相談とはひと味違う

本格的なFP相談を してみよう



FPはあなたの夢を叶える『家計のホームドクター[®]』

FPはこんなときにお役に立ちます

1

子どもの教育費は
どうやって
準備したらいい？

2

家計が
毎月赤字…。
どうしたら
改善できるの？

6

今入っている
保険の保障が
合っているか
知りたい



5

老後が不安…。
いい備え方が
あったら教えて

4

ボーナスを
運用したいけど、
何かいい方法は
ある？

3

マイホームを
買いたいけど、
ローンが払えるか
心配

本格的なFP相談にはこんなメリットがある！

1

相談者の不安やお悩みに、
時間をかけて丁寧に
カウンセリング



2

将来の収支を
専用ソフトなどで
シミュレーション



3

具体的にお悩みの対策や
不安を解消するプランを
ご提案



4

相談後も親切、丁寧に
アフターフォローします！



※いくつかの例を紹介しています。これ以外にも
様々なメリットがあります。

FP(ファイナンシャル・プランナー)は家計に関する
さまざまなお悩みに答えてくれる、家計のホームドクター[®]です。
家計の悩みが深刻になる前に、ぜひ一度相談してみませんか？

※家計のホームドクター[®]はNPO法人日本FP協会の登録商標です。

次ページから、相談の様子をケース別にご紹介します。相談
料金などは東京在住のFPの事例に基づき、作成したもので
す。相談内容や条件などにより異なりますので、実際にご相
談いただく場合には、必ず担当のFPにご確認ください。

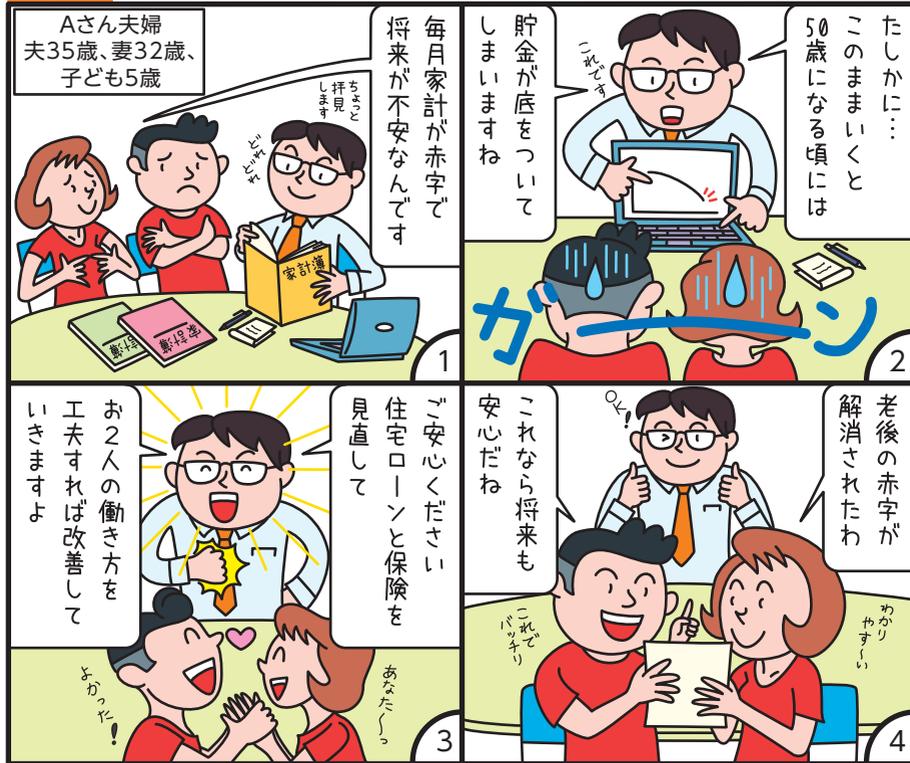


赤字家計から脱出 したい!

家計見直し総合診断



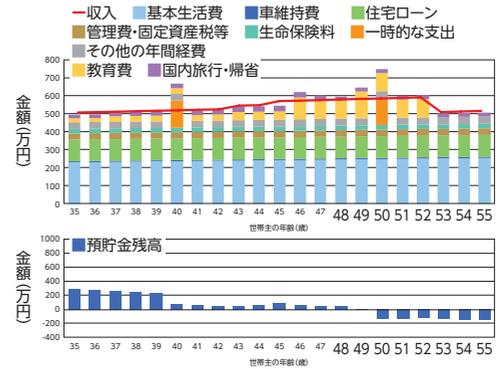
START



現状のままだと 50歳で貯蓄がゼロに!

現在の収入・支出から将来の収支をシミュレーションした結果、このままでは毎年赤字で貯蓄を取り崩して穴埋めする日々が続く、夫が50歳を迎えるときには貯蓄が底をつくことが発覚。早急にか計を改善する必要があることがわかりました。

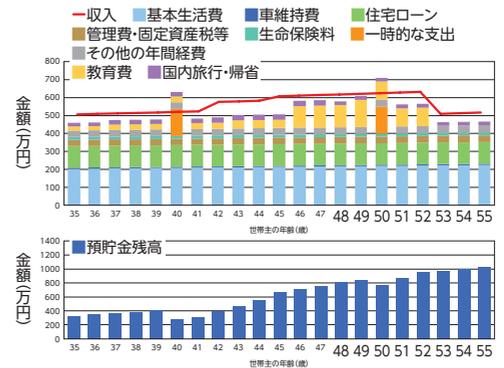
見直し前の家計を分析



家計全体を見直し 妻が働く期間を延長

FPから①住宅ローンを金利が低いものに借り換える②保険を見直して保険料を抑える③妻が働く期間を延長するという赤字解消策の提案を受け再度シミュレーションした結果、50歳以降も貯蓄が増える家計に改善されました。

見直し後の家計がデータでわかる



今回の相談の流れ

- 1 家計について 詳細にヒアリング
- 2 現状のキャッシュフロー (収入や支出、貯蓄の増え方など)をシミュレーション
- 3 家計改善に向けて、収入・支出の額を変えながらさらにシミュレーション
- 4 家計を改善した後のキャッシュフローを確認し対策をアドバイス

今回の相談のまとめ

相談内容:「家計総合診断」保険・住宅ローンの診断を含む、収入・支出項目のアドバイス(将来シミュレーション付き)

所要時間:約3時間

相談料金:3万5千円～ (再診断料金は1万円～)

※保険商品の募集や勧誘等については「保険募集人」の有資格者がいる場合のみ行えます。

毎月2万円 貯まるね!



相談を受けた感想

収入を増やして支出を減らす具体的な提案をもらったおかげで、赤字家計が改善され、まずは月々2万円の貯蓄ができるようになりました。このままいくと定年前には1,000万円の貯蓄ができる見込みとなり、将来への漠然とした不安が解消されました。

今入っている保険の保障不足が心配

保険見直し相談

START



今回の相談の流れ

- 1 保険証券などを見ながら
いま加入中の保険の
保障内容を確認
- 2 家族の将来を見据えて
本当に必要な保障を確認
- 3 必要な保障を
確保するための
見直しプランを検討
- 4 保険商品の選択も含めた
具体的な見直しプランを
提案

保障の内容を しっかり確認

子どもが生まれたので保険を見直すことにしたBさん夫婦。必要な保障額はいくらかをシミュレーションしてもらい、加入している保険の保障と照らし合わせてもらったところ、夫が死亡した場合の保障額が大幅に不足していることがわかりました。

いま加入している保険を整理

契約者	被保険者	受取人	保険種類	年月日	契約満了期間	払込期間	保険料	主な補償内容	
								死亡保険金	入院日額
1	夫	妻	定期生命保険	2015/7/1	2045/6/30	9,000円	1,500万円 50歳まで (特約100万円)	5,000円 1日額95%	
2	夫	妻							北の国生命相互生命保険株式会社 北の国生命相互生命保険
3	妻	妻	医療	2018/10/1	2055/9/30	2,500円			5,000円 1日額95%

見直しプランで 保障を確保

不足している保障をしっかりと確保できるように、加入中の保険を生かしながら足りない保障を確保する見直しプランを提案してもらったBさん夫婦。保険の内容も理解でき、保障不足もしっかりと改善。万一のときに対する不安が解消されました。

保険ご提案設計書

ご契約者 山田太郎様 生年月日0月×日 年齢30歳 性別 男性
被保険者 山田太郎様

ご提案内容

保険種類	払方	保険期間	払込期間	保険給付
定期保険	0円			
学資保険				
総合医療保険	元金0円	特約	50年	日額1万円

保険内容の推移グラフ【定期保険】

保険内容の推移【定期保険】

年齢	年度	A 保険料集計	B 解約返戻金	C 死亡保険金
31	1	110,004	0	100,000
32	2	220,008	0	100,000
33	3	330,012	0	100,000
34	4	440,016	0	100,000

今回の相談のまとめ

相談内容: 現状の保障の確認、必要保障額の算出、具体的な見直しプランの作成
所要時間: 約2～3時間
相談料金: 1万2千円～

※保険商品の具体的な提案・契約については「生命保険募集人」の有資格者がいる場合のみ行えます。

保険料も手頃!

相談を受けた感想

保険でいくらかの保障を確保したらいいのがしっかりわかったので一安心。加入中の保険も見直しプランも詳しく説明してもらえたので、納得して加入することができました。

どんな住宅ローンを選んだらいい？

住宅ローン相談

START



変動型と固定型の メリット・デメリットを確認

住宅ローンの返済で変動型と固定型で迷っているCさん。変動型は低金利ながら、金利上昇に伴い返済額が増える可能性があること、固定型は金利は高いものの、返済額が一定という利点があることなどの説明を受けました。



複数の金融機関で返済プランを確認

	A銀行	B銀行	C銀行	D銀行	E銀行	F銀行
	変動金利	3年固定	5年固定	10年固定	全期間固定	元金均等
当初金利	0.650%	2.950%	2.950%	3.150%	1.62%	1.62%
11年目以降金利	—	—	—	—	1.62%	1.62%
当初キャンペーン金利	—	-2.45%	-2.40%	-2.30%	—	—
継続キャンペーン金利	—	見本				—
返済期間	35					35
借入金額	40,000,000	見本				40,000,000
当初月返済金額	106,508					103,834
最大月返済金額	141,913	154,435	151,217	132,322	124,839	149,238
当初年間返済金額	1,278,090	1,246,010	1,256,645	1,321,676	1,498,063	1,782,371
最大年間返済金額	1,702,952	1,853,216	1,814,605	1,587,866	1,498,063	1,782,371
総返済金額	52,888,498	56,634,049	54,985,584	51,428,225	52,432,214	51,367,000

※見本です。記載されている数字は実際のものとは異なります。

複数の住宅ローン プランを提示してもらう

金利タイプや金融機関によって、どのように返済プランが変わるのかを具体的にシミュレーションしてもらったCさん。一度持ち帰り自宅でじっくり検討したあと再びFPの元を訪問し、具体的なローンの申し込み先を決めることができました。

今回の相談の流れ

初回

- 1 希望するマンションの金額や頭金の額などをヒアリング
- 2 自身が無理なく買える物件価格や無理のない毎月返済額をチェック
- 3 経済情勢を踏まえ、複数の金融機関の金利を確認
- 4 さまざまな金利タイプで返済シミュレーションを実施

2回目

- 1 持ち帰って決めたプランで再度問題ないか相談し、借入先を決定

今回の相談のまとめ

相談内容: 住宅ローンの返済シミュレーションの実施、具体的なプランの作成、複数の金融機関や金利などの情報提供

所要時間: 各回約1時間

相談料金: 1回目:1万円～

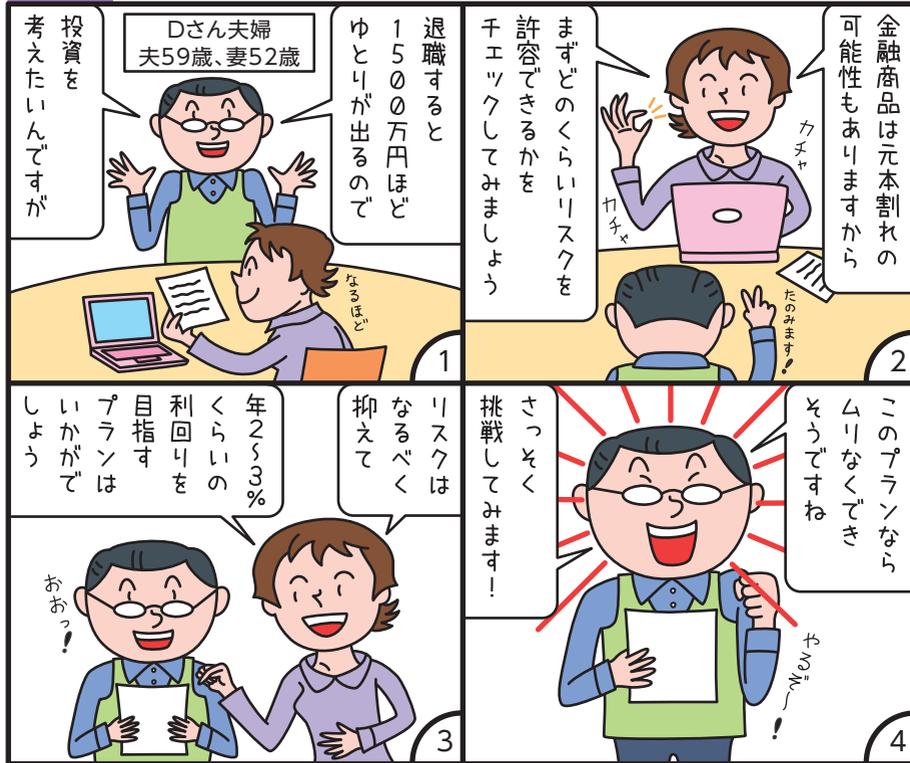
2回目:5千円～

※このほか、借り換えや繰り上げ返済の相談も可能です。



退職金を上手に増やしたい! 資産運用相談

START



元本割れをどの程度許容できるかチェック

退職後の余裕資金1,500万円を運用したいとFPの元を訪れたDさん。どの程度の元本割れなら気持ちと家計の両面から耐えられるかを確認したうえで、実際に投資できる金額と、目標とする運用利回りを提案してもらいました。

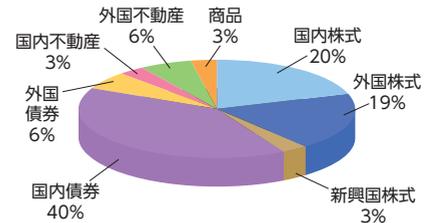
投資対象の組み合わせを提案してもらおう

経済状況や主な金融商品についての説明を受けた後、どんな資産にどのような比率で投資をしたらよいかをまとめた資産配分案を作成してもらうことに。投資対象が明確になり、具体的な一歩を踏み出す気持ちが生まれました。

より具体的な運用プランやアドバイスを受けるには

FPが「投資助言・代理業」などの資格を持っていない場合でも、「投資助言・代理業」などの資格を有している提携先と連携することにより、具体的な資産配分や金融商品の紹介などを含めた包括的な資産運用相談をすることが可能です。

より具体的な資産配分の例



今回の相談の流れ

- 1 家計や投資経験、その人の性格などを考慮してリスク許容度を確認
- 2 投資できる期間や金額と目標利回りを検討
- 3 (目標利回りに合わせた) 投資対象の組み合わせ※の提案
- 4 定期的な運用の見直し(運用成績により変化した投資配分の比率を調整)

今回の相談のまとめ

相談内容: リスク許容度と投資金額の確認、目標利回りに合わせた運用プランの作成

所要時間: 約2~3時間

相談料金: 初回相談1万円~(投資顧問契約を結び、年間を通じて定期的に投資商品の助言を受ける場合は年間12万円~)

10年で1.3倍をめざします



相談を受けた感想

金融商品の特性を教わったうえで、自分がどのくらいの元本割れなら耐えられるかがわかったのが良かったですね。退職金1,500万円のうち1,000万円を目標利回り3%で運用できたら、10年後には約1,344万円! コツコツ頑張ります。

※(国内株式、外国株式、国内債券、外国債券)の4資産

金融商品取引法に基づき、「投資助言・代理業」の資格がなければ、投資助言行為など、具体的なプランや投資先のアドバイスを行うことはできません。

FPに相談してみたい! と思ったら…

信頼できるFP(ファイナンシャル・プランナー)の探し方

1

FP資格を 持っているか確認

FPとしての信頼の証であるCFP®・AFP資格*を持っているFPをお薦めします。

2

得意分野は?

家計管理・不動産・保険・相続など、FPにはそれぞれ得意分野があります。相談したい分野を得意とするFPを探しましょう。

3

相談したい分野の 相談実績はあるか

相談したい分野の相談実績を参考にFPを探すことも一つの方法です。ホームページなどで相談件数もチェックしましょう。

4

相談料はいくら?

相談、プラン作成、見直しなどによって発生する具体的な料金をあらかじめ聞いておきましょう。



5

どんなネットワークを 持っているか

プランの実行や問題解決には他の専門家の協力が必要なことも。ニーズに応えられる専門家とのネットワークも大切なポイントです。

FP相談にはさまざまなタイプがあります。これまで紹介したFP相談は一例です。相談するFPによって相談の流れや相談内容、料金体系は異なりますので、詳細は各FPまでお問い合わせください。

*NPO法人日本FP協会が認定するCFP®資格は、世界25カ国・地域で導入されている世界共通水準の資格であり、AFP資格は25年以上の歴史を持ち国内で広く普及している資格です。

日本FP協会のサイトを活用しよう!



FPの相談事例が見られる
みんなのFP相談事例集
をチェック



あなたの家計は大丈夫?
ライフプラン診断で
将来の家計を診断しよう



日本FP協会

相談できるFPを探してみよう

日本FP協会が認定しているFPの上級資格、CFP®認定者をネットで検索できます!

The screenshot shows the search interface for finding CFP® certified financial planners. It includes a search bar, filters for location and specialty, and a list of search results. A sidebar on the left offers additional resources like a glossary and a life plan diagnosis tool. A QR code is visible in the bottom right corner of the page.

<https://www.jafp.or.jp/confer/search/cfp/>
検索方法は次のページをチェック!



1 CFP® 認定者を検索する

ご利用条件に同意いただくと
検索条件の入力ページが開きます。

FPの所在地または営業範囲を選択します。
※都道府県選択は最低1か所は必須、市区町村の入力は任意です。
対面相談が主となるため、お住まいの地域や勤務先、近隣の地域を選択してください。

検索結果画面 2

写真もしくは「詳細を見る」を選ぶとCFP®認定者の詳細ページが表示されます。

「もっと詳細な条件で検索する」を選ぶと相談料金が保有資格、FPの氏名など、細かい条件を入力することができます。

3 詳細画面

プロフィールやモットー、得意分野などCFP®認定者の情報をご覧いただけるページです。

実際に相談したい、料金等詳細を聞きたい方は
こちらから問い合わせください。

内容を確認のうえ、問い合わせいただくと、CFP®認定者へメールが送信されます。
FPからの連絡をお待ちください。

FPのホームページや、記載されている電話番号、メールアドレスからご連絡いただいてもかまいません。
※各FPが独自に相談料金を設定していますので、事前にご確認ください。

相談料金がCFP®資格以外の保有資格、金融商品の取り扱い有無など、事前に知っておきたい情報はもちろん、FPのプロフィールやこれまでの実績、どんな相談ができるか、詳細をご覧いただけます。

ネット相談が可能かはこちらでご確認ください。

4 FPに問い合わせる

こちらのフォームからFPに
問い合わせいただけます。

内容を確認のうえ、問い合わせいただくと、CFP®認定者へメールが送信されます。
FPからの連絡をお待ちください。

日本FP協会のSDGsへの取り組み

持続可能な開発目標の達成に向けた取り組み方針を定めました



SDGs(持続可能な開発目標)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。誰一人取り残さない世界の実現に向けた17の目標と169のターゲット(具体的成果)から構成されています。日本FP協会においても、特に以下の4つの開発目標に注力し、SDGsの達成に貢献してまいります。



あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

方針 行政機関等と連携し、生活困窮世帯等へのファイナンシャル・プランニングに関するセミナーや相談を実施し、生活者の金融リテラシーの向上に努め、資産形成を支援します。

具体的な施策

- ・生活困窮者自立支援制度に基づく家計改善支援事業の講師・相談員派遣
- ・ひとり親家庭等生活支援事業に基づく講師・相談員派遣
- ・修学支援アドバイザー
- ・金融コンシェルジュ

など



包括的で安全かつレジリエントで持続可能な都市及び人間居住を実現する

方針 不動産運用設計は、ファイナンシャル・プランニングの分野の一つであり、移住や空き家対策などに活用することで、各地域での持続可能な都市づくりに貢献します。

具体的な施策

- ・被災地域における被災者への家計再建相談等
- ・国土交通省「住み替え等円滑化推進事業」における専門家の育成
- ・各地域における移住推進等での空き家活用制度への協力

など



すべての人々への包括的かつ公平な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

方針 全国の支部で実施しているFPフォーラム(無料セミナー+無料相談会)や金融経済教育用小冊子等の頒布等により、生活者の金融リテラシーの向上に努めます。また、「12 つくる責任つかう責任」を踏まえた消費者教育の充実は、新学習指導要領でも検討されており、そうした分野においてもパーソナルファイナンス教育の推進に努めます。

具体的な施策

- ・修学支援アドバイザー
- ・スカラシップ・アドバイザー制度への協力
- ・パーソナルファイナンス教育インストラクターの派遣
- ・大学での金融経済教育講座等の実施
- ・支部でのFPフォーラム
- ・金融経済教育用小冊子の頒布
- ・小学生「夢をかなえる」作文コンクール

など



持続可能な生産消費形態を確保する